

「松入ニ罪がある」ヲトス罪ナキ勞働者ヲ不當解雇シテ現ニ重役
 地合ヲ迫ラシメバナス次ニ櫻井市長ガ市參事會ヨリ勸告空
 官ニ對シテ五千圓支出シテ慰勞金ヲ與ヘタルニ對シテ不當事
 降壇其後ト受ケテ旗儀ハ司會者ニ再三懇請ニテ失業問題
 ニ付シ條々演説又且取後ニ友愛會松岡ガ激勵演説アリテ
 午後五時半散會
 尚今夕聯合會本部於テ救濟委員會開催シ又乾木
 友愛會々々松岡等於昨午六日當地出身及親戚ニ向
 ツテ
 尚失業者職金紹介ノ件ニ就テ方針研究中

所場 神田美土代町 於 青年會館

日 九月二十日午後六時正刻

神戶勞争 拔劍問題調查報告 演說會

報 告 辯 士 ▲

- 一 慘殺の責任者は誰ぞ 辯護士 松谷與二郎
- 一 封建時代? 立憲時代? 同 上村 進
- 一 國權の痲痺を論ず 同 谷 健次郎
- 一 神戸美術俱樂部血染の一卷 同 宮澤 武七
- 一 此の證據を奈何 同 山中 正直
- 一 民權と官權との問題 同 宮崎 龍介
- 一 勞働爭議と人權問題 同 三輪 壽莊
- 一 題未定 同 山崎今朝彌
- 一 勞働爭議と所謂高等警察 同 布施辰治

▼ 事實 證 言 者 ▲
 賀川 豊彦 柴田 富太郎
 久留 弘三 行 政 長 藏
 鈴木 文治 松岡 駒吉

主催 神戶勞働爭議調查辯護士有志團

入場料 金 參拾圓

昭和四年九月

同志上谷君は死んだ。前途春秋多き彼は死んで身の潔白を示さうとしたのだ。あゝ尊き死の勝利!これは勞働運動者のみが持つ得る美しい情操である。
 金のために主義を賣らなかつた彼の雄々しき態度は後の世の勞働者に多大の刺激と感銘を與へるであらう。十九歳の青年上谷君の死は決して無意義ではなかつた。
 (遺 書)

神戸五萬の罷工 勞働者諸君へ

(死に面して) 上 谷 清 逸

諸君よ。私は知らずに貰つた金の爲め主義を賣り、友を賣り、理想までも屈げなければならなくなつた。私の立場を悲觀して又今の場合をのがれる道も無く、私は死を選びます。指の負傷手當金だと思つたのが、私を買収する爲めの金であつたのです。其の金は全部使かつたのです。
 返すにも返されないので。死に面して諸君に御願ひする事は、私の死に依つて、諸君は何等かの「ヒント」を得て益々結束を強くして、横暴なる資本家を倒すまで、戦はれん事を(中略)呉れ呉れも諸君に御願ひする次第であります。
 (友愛會神戸聯合會樓上にて書す)